

大阪市立加美南部小学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、素直で子どもらしさにあふれる反面、自ら進んで意欲的に学習したり、物事を正しく判断して行動したりする面は弱い。また、不登校や遅刻、登校しても集団になじめない児童も見受けられ、家庭との連携を含めた生活指導が不可欠である。

知育面では、習熟度別少人数指導や校内授業研究など校内指導や研究の充実を図ってきている。しかし、基礎・基本の定着がいまだ十分とはいえない。そこで、反復練習やきめ細かな指導に力を注いでいく必要がある。また、研究を進めている国語科においては、言語活動を活発にすることやコミュニケーション力を高めることをめざし、物語文への読解力向上に取り組みが求められる。

徳育面では、「自己肯定感」や「自尊感情」の認識があまりなく、自分の良さや自分らしさに自信をもてない児童が多い。学校生活のあらゆる機会をとらえて、その子の存在を認めていくことが必要である。また、豊かな心を育てるための様々な施策を考え、たてわり班活動や体験活動、飼育・栽培活動を中心に実践していく必要性がある。

体育面では、平成 28 年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果、「50m走」以外では男女とも全国平均を下回った。「長座体前屈」や「立ち幅とび」、「反復横とび」の数値が特に低い。走力だけでなく児童の総合的な体力・運動能力向上をめざし、年間を通じて運動に親しませる習慣の定着を図ることが課題である。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 %以上にする。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 90 %以上にする。
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
- 平成 32 年度の学校児童アンケートにおける「自分には信頼できる（仲の良い）友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 %以上にする。
- 平成 32 年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75 %以上にする。
- 平成 32 年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、自分からあいさつができる」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 80 %以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 30 年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成 30 年度より 2 ポイント減少させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も平成 30 年度より 2 ポイント増加させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、平成 28 年度より増加させる。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。
- 平成 32 年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。
- 平成 32 年度の学校児童アンケートにおける「朝食を食べている」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。
- 平成 32 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 80 % 以上にする。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 31 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % 以上にする。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85 % 以上にする。
- 平成 31 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成 31 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 31 年度の学校児童アンケートにおける「自分には信頼できる（仲の良い）友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 85 % 以上にする。
- 平成 31 年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70 % 以上にする。
- 平成 31 年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75 % 以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 平成 31 年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75 % 以上にする。
- 平成 31 年度の学校児童アンケートにおける「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 % 以上にする。
- 平成 31 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75 % 以上にする。
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 31 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % 以上にする。
すべて対応し、解決を図った。：目標どおり達成した
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85 % 以上にする。
平成 30 年度：88.8% 令和元年度：91.8%：目標を上回って達成した
- 平成 31 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
平成 30 年度：1名 令和元年度：0名：目標どおり達成した
- 平成 31 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
平成 30 年度：0.24%（1名） 令和元年度：0.5%（2名）：取り組んだが達成できなかつた

校園の年度目標

- 平成 31 年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 85 % 以上にする。
1 学期末：91.5% 2 学期末：93.7%：目標を上回って達成した

- 平成 31 年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 70 %以上にする。
1 学期末 : 73. 1% 2 学期末 : 73. 1% : 目標を上回って達成した
- 平成 31 年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75 %以上にする。
1 学期末 : 88. 4% 2 学期末 : 88. 0% : 目標を上回って達成した

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
平成 30 年度 3 年 : 97. 2 令和元年度 4 年 : 97. 8 : 目標を上回って達成した
平成 30 年度 4 年 : 98. 9 令和元年度 5 年 : 103. 2 : 目標を上回って達成した
平成 30 年度 5 年 : 98. 9 令和元年度 6 年 : 102. 4 : 目標を上回って達成した
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
平成 30 年度 3 年 : 18. 8% 令和元年度 4 年 : 19. 0% : 取り組んだが目標を達成することができなかった
平成 30 年度 4 年 : 19. 4% 令和元年度 5 年 : 7. 9% : 目標を上回って達成した
平成 30 年度 5 年 : 12. 7% 令和元年度 6 年 : 8. 3% : 目標を上回って達成した
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
平成 30 年度 3 年 : 15. 6% 令和元年度 4 年 : 19. 0% : 目標を上回って達成した
平成 30 年度 4 年 : 20. 9% 令和元年度 5 年 : 38. 1% : 目標を上回って達成した
平成 30 年度 5 年 : 15. 5% 令和元年度 6 年 : 31. 9% : 目標を上回って達成した
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
平成 30 年度 : 63. 7% 令和元年度 : 63. 0% : 取り組んだが目標を達成することができなかった
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。
反復横とび 平成 30 年度 : 41 回 令和元年度 : 36 回 : 取り組んだが目標を達成することができなかった
立ち幅とび 平成 30 年度 : 148. 5 cm 令和元年度 : 138. 3 cm
: 取り組んだが目標を達成することができなかった

学校園の年度目標

- 平成 31 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75 %以上にする。
1 学期末 : 84. 7% 2 学期末 : 86. 6% : 目標を上回って達成した
- 平成 31 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90 %以上にする。
1 学期末 : 93. 2% 2 学期末 : 94. 2% : 目標を上回って達成した

- 平成 31 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75 %以上にする。
1 学期末：90.3% 2 学期末：92.2%：目標を上回って達成した
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。
平成 30 年度：53.4 令和元年度：50.9：取り組んだが目標を達成することができなかつた

今年度、大阪市教育振興基本計画における 2 つの最重要目標（①子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現・②心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上）の達成に向けて取組をすすめた結果、年度目標においては、①については、7 項目中 6 項目を、また、②については、16 項目中 11 項目を、目標を上回って達成した、または、目標どおりに達成することができた。また、年度目標の達成に向けた取組内容（6 施策）については、**取組内容の指標をほとんどすべて達成することができ、一定の成果を上げることができた。**しかし、依然として、基礎学力に課題のある児童や家庭環境が厳しく、不登校ぎみの児童も複数いる。

今後も基礎学力の定着と家庭との連携を含めた生活指導の充実が不可欠である。

知育面では、基礎学力の確実な定着をめざし、「授業の充実」に努めた。また、教員の指導力向上に向けて、研究教科を「算数」と定め、主体的・対話的で深い学びをする児童の育成をめざし、校内研究に取り組んだ。その結果、一定の成果を上げることができた。

「わかりやすい授業」をめざし、書画カメラ【校長経営戦略支援予算：加算配付】など、ICT 機器（電子黒板、タブレット等）の積極的な活用がすすみつつある。

また、児童の基礎学力の定着につながる読書力向上に向けて、ここ数年継続してきた学校図書館の整備等については、今年度も回転式移動書架【校長経営戦略支援予算：基本配付】を活用した学校図書館・教室の蔵書の分類、整理をすすめることができた。平野区ひらちゃん読書ノートの取組においても、**70 名の児童が区長表彰を受けた。**児童のよりよい読書習慣が定着しつつある。

今後も、児童の基礎・基本の定着には、反復練習や不可欠であり、自主学習習慣づくり・家庭学習習慣づくりに取り組んでいく必要がある。

德育面では、学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、また、たてわり班を基盤とした仲間づくりを通して、望ましい児童集団づくりをすすめることができた。

今後も、児童の内面の成長を促す指導に努めていきたい。

体育面では、「水泳記録会」「かけあし記録会」「なわとび大会」等の体育的行事等が定着し、児童の「運動」へ取り組む意識が高まったが、体力向上については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、数値が全体的に低下し、課題が残った。

健康習慣づくり等については、食育を推進することで、児童の「食」に対する意識が高まり、給食では「残食 0」が実現しつつある。

今後も、感染症予防、食物アレルギー対応をはじめ、児童が、自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけるように、取組をすすめていく必要がある。

大阪市立 加美南部小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 ○ 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○ 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度の学校児童アンケートにおける「自分には信頼できる（仲の良い）友だちがいる」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。 ○ 平成31年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。 ○ 平成31年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」との質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童にとって、安全で安心な教育活動を推進する。 ・安全教育、防災・減災教育を推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事・泊を伴う行事等において、安全で安心な教育環境を確保するために、指導員・看護師等を配置する。 ・交通安全教室（年1回以上）を実施する。 ・保護者、地域、関係機関と連携した防災体験学習（年1回以上）を実施する。 	B
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、きまりや時間を守ること、清掃の大切さを理解させる。 ・キャリア教育の充実を図る。 	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活指導強調週間」(各学期1回)等を充実させることで、遅刻をしなかった児童の割合を90%以上にする。児童会を中心に「あいさつ運動」(各学期1回)、「美化点検」(年2回以上)実施する。 ・職業講話(年1回)・職業体験学習等(年1回)を取り組む。 	
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備(蔵書の整理、データベース化等)に努めるとともに、児童の学校図書館を活用した調べ学習・読書活動を推進する。 ・地域・進学中学校との交流行事を実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備(蔵書の分類・整理、データベース化等)をすすめる。また、学校図書館の開館(年間200回以上)、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等(各学級各学期1回以上)を行う。 ・地域人材を活用し、茶道教室、グラウンドゴルフ、絵手紙教室等を1回以上実施する。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
全市共通目標(小・中学校)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 すべて対応し、解決を図った。:目標どおり達成した ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を85%以上にする。 平成30年度:88.8% 令和元年度:91.8%:目標を上回って達成した ○ 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 平成30年度:1名 令和元年度:0名:目標どおり達成した ○ 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 平成30年度:0.24%(1名) 令和元年度:0.5%(2名):取り組んだが達成できなかった 	
校園の年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度「児童アンケート」における「自分には信頼できる友だちがいる」の質問に肯定的答える児童の割合を85%以上にする。 1学期末:91.5% 2学期末:93.7%:目標を上回って達成した ○ 平成31年度「児童アンケート」における「読書が好きですか」の質問に肯定的答える児童の割合を70%以上にする。 1学期末:73.1% 2学期末:73.1%:目標を上回って達成した ○ 平成31年度「保護者アンケート」における「子どもたちは、地域などで、あいさつができる」の質問に肯定的答える保護者の割合を75%以上にする。 1学期末:88.4% 2学期末:88.0%:目標を上回って達成した 	

取組内容①

- ・学生ボランティア、生活指導員、特別支援教育関係員等を活用することで、学校行事（運動会、遠足等）、泊を伴う行事（5年林間学習、6年修学旅行）等を子どもにとってより安全に実施することができた。
- ・6月1日（土）・10月11日（金）、平野警察署と連携した交通安全教室を実施した。
- ・6月14日（金）、大阪府少年サポートセンターと連携した非行防止・犯罪被害防止教室を実施した。
- ・5月31日（金）、火災を想定した避難訓練を実施した。
- ・9月5日（木）、大阪880万人訓練に合わせて、地震・津波を想定した防災訓練を実施した。
- ・10月19日（土）、保護者参加のもと、災害時の引き渡し訓練を実施した。
- ・11月1日（金）、平野警察署と連携し、不審者を想定した避難訓練を実施した。
- ・1月31日（金）、薬物乱用防止教室を実施した。
- ・2月20日（木）、地震、津波を想定した避難訓練を実施した。

取組内容②

○児童会を中心とした「あいさつ運動週間」

- ・1学期：5月27日（月）～6月1日（土）
- ・2学期：10月21日（月）～25日（金）
- ・3学期：1月27日（月）～2月7日（金）

○「生活指導強調週間」

- ・1学期：6月20日（木）～26日（水）
- ・2学期：11月11日（月）～15日（金）
- ・3学期：2月17日（月）～21日（金）を実施した。

95%以上の児童が日々遅刻することなく、登校できている。

○美化点検は、毎週金曜日に健康委員会（養護教員指導のもと）によって、27回（2月21日現在）行っている。

- ・1月22日（水）、6年職場体験学習（キッザニア甲子園）を実施した。
- ・1月30日（木）、平野ロータリークラブより講師を招き、5年生対象に職業講話を実施した。

取組内容③

- ・校長経営戦略支援予算【基本配付】で購入した回転式移動書架を活用し、学校図書館・教室の蔵書の分類、整理等をすすめることができた。
- ・図書館開館は、毎日昼休みと火曜日の毎休憩時間・放課後に行っている。

学校図書館の開館のべ回数は、333回、来館のべ児童数4,797名（2月21日現在）

○地域連携の一環として、

- ・10月31日（木）、グランドゴルフ、
- ・11月19日（火）、茶道教室
- ・12月6日（金）、絵手紙教室を実施した。

○小中連携の一環として、

- ・11月26日（火）、加美南中学校体験授業を実施した。
- ・3月4日（水）、加美南中学校部活動見学（新型コロナウイルス感染症対策のため、中止）

次年度への改善点

- ① 次年度は、老朽校舎改築工事、引越し等も予定されており、日常的な安全点検等をより充実させることで、児童にとって安心・安全な教育環境づくりをすすめていく必要がある。
- ② 「あいさつ」の啓発活動等については、一定定着しているが、今後は、児童が、より自発的・主体的な「あいさつ」ができるよう取り組む必要がある。
- ③ 生活面での小中連携の取組は定着しているが、学習面での教職員間のより密接な関係づくりが必要である。

大阪市立 加美南部小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。 ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ○ 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を75%以上にする。 ○ 平成31年度の学校児童アンケートにおける「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。 ○ 平成31年度の学校保護者アンケートにおける「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を75%以上にする。 ○ 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、すべての児童の「わかる・できた」をめざした授業づくりに努める。 ・少人数授業（TT・習熟度）等の指導法の研究や指導力の向上に取り組む。 ・放課後を活用した学習機会をつくる。 ・学習意欲の原動力となる「心」への教育刺激として、すぐれた芸術にふれる機会や社会見学等の機会をつくる。 	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級、学習室等で、ICT機器（タブレット・電子黒板等）を活用した学習活動等を毎月2回以上実施する。 ・教員の公開授業を年間15回以上実施する。 ・教育指導員等を指導要請し、研究授業（年3回）・研究協議を実施する。 ・放課後ステップアップ学習会を実施する。 ・「芸術鑑賞会」（年1回）や社会見学等（全学年：年1回）を実施する。 	
<p>取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの違いを認め合い、自他を尊重する態度を育成する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権にかかわる体験学習（全学年：年1回）、教職員研修（年1回）等を実施する。 	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童にとって、学びやすく、安全・安心な校内環境、教育環境づくりに努め、自主的な健康管理及び規則正しい生活習慣の態度を育てる。 ・体育的行事や「体力づくりにつながる遊び」を充実させて、豊かな感性を育むとともに、児童の体力向上を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、教職員による校内環境等の安全点検を実施する。 ・「救急救命」、「熱中症対策」、「食物アレルギー対応」等の教職員研修を年1回以上実施する。 ・「保健だより」、「えいようだより」を月1回発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめる。 ・水泳記録会への参加、かけあし記録会、ドッジボール大会、大なわ大会、なわとび大会等を行う。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 平成30年度3年：97.2 令和元年度4年：97.8 : 目標を上回って達成した 平成30年度4年：98.9 令和元年度5年：103.2 : 目標を上回って達成した 平成30年度5年：98.9 令和元年度6年：102.4 : 目標を上回って達成した ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 平成30年度3年：18.8% 令和元年度4年：19.0% : 取り組んだが目標を達成することができなかった 平成30年度4年：19.4% 令和元年度5年：7.9% : 目標を上回って達成した 平成30年度5年：12.7% 令和元年度6年：8.3% : 目標を上回って達成した ○ 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。 平成30年度3年：15.6% 令和元年度4年：19.0% : 目標を上回って達成した 平成30年度4年：20.9% 令和元年度5年：38.1% : 目標を上回って達成した 	

平成 30 年度 5 年 : 15.5% 令和元年度 6 年 : 31.9% : 目標を上回って達成した

- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

平成 30 年度 : 63.7% 令和元年度 : 63.0% : 取り組んだが目標を達成することができなかった

- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（反復横とびと立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

反復横とび 平成 30 年度 : 41 回 令和元年度 : 36 回 : 取り組んだが目標を達成することができなかった

立ち幅とび 平成 30 年度 : 148.5 cm 令和元年度 : 138.3 cm

: 取り組んだが目標を達成することができなかった

学校園の年度目標

- 平成 31 年度「児童アンケート」における「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 75% 以上にする。

1 学期末 : 84.7% 2 学期末 : 86.6% : 目標を上回って達成した

- 平成 31 年度「児童アンケート」における「朝食を食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を 90% 以上にする。

1 学期末 : 93.2% 2 学期末 : 94.2% : 目標を上回って達成した

- 平成 31 年度の学校保護者アンケートにおける「学校は校内美化（校内環境）に気を配っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 75% 以上にする。

1 学期末 : 90.3% 2 学期末 : 92.2% : 目標を上回って達成した

- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を、前年度より向上させる。

平成 30 年度 : 53.4 令和元年度 : 50.9 : 取り組んだが目標を達成することができなかった

取組内容④

・ 校長経営戦略支援予算【加算配付】で購入した書画カメラの活用をはじめ、ICT 機器（電子黒板、タブレット等）を活用し、「わかりやすい授業」づくりに努めた。

・ 校内研修計画に基づき、研究授業・公開授業等（26 回）を実施した。

・ 大阪市教育センター・大阪市小学校研究会区内研究理事等に指導要請した研究授業・研究協議（4 回）を実施した。

・ 放課後ステップアップ学習会を以下のとおり実施した。（2月 21 日現在）

2・3・6 年 : 月曜日放課後（18 回 参加児童数 のべ 442 名）

4・5 年 : 木曜日放課後（23 回 参加児童数 のべ 242 名）

・ 6 月 6 日（木）、吹奏楽の生演奏による音楽劇「シンデレラ」（芸術鑑賞会）を実施した。

・ 社会見学等を以下のとおり実施した。

1・2 年 : 10 月 3 日（木）、海遊館

3 年 : 2 月 13 日（木）、くらしの今昔館（新型コロナウイルス感染症対策のため、中止）

4 年 : 10 月 2 日（水）、大阪市立科学館

5 年 : 12 月 9 日（月）、朝日新聞社

6年：10月30日（水）、ピースおおさか

取組内容⑤

- ・タブレットの活用については、6月20日（木）にタブレットを活用した授業研究、7月17日（水）にICT支援員による研修、を行った。また、10月25日（木）に外部講師を招き、PC教職員研修会を実施した。
- ・人権にかかわる体験学習（全学年各1回）を実施した。
- ・12月24日（火）、外部講師を招き、人権にかかわる教職員研修（多文化共生教育）を実施した。

取組内容⑥

- ・6月3日（月）、平野救急隊員を講師に招き、「救急救命」の教職員研修会を実施した。
- ・8月23日（金）、「熱中症対策」教職員研修を実施した。
- ・「保健だより」、「えいようだより」は、月1回のペースで発行できている。
- ・7月30日（火）、大阪市児童水泳記録会に17名の児童が参加することができた。
- ・12月10（火）、かけあし記録会を実施した。
- ・1月14日（火）・23日（木）・25日（金）、学年対抗ドッジボール大会を実施した。
- ・1・2年：2月13日（木）、3・4年：2月12日（水）5・6年：2月14日（金）、なわとび大会を実施した。
- ・2月20日（木）、おおなわ大会（4～6年）を実施した。

次年度への改善点

- ④ 研究授業・公開授業等については、今後も、相互参観等が十分にできない場合については、指導案を充実させることで、研修の充実を図る必要がある。
- ⑤ ICT機器（デジタル教科書、書画カメラ等）の活用は定着してきたが、タブレットを活用した授業実施状況については、学年・学級によってばらつきがある。特に、タブレットについては、より積極的・効果的に授業に活用できるよう、研修を重ねていくことが必要である。
- ⑥ ここ数年、児童の運動習慣（体育的行事等）が定着しており、児童の体力テスト等の結果も改善されつつあったが、今年度は、再び低下した。様々な要因が考えられるが、次年度は、老朽校舎改築工事も予定されており、運動場の使用が制限されるので、児童の体力向上に向けての取組が課題である。また、食物アレルギー対応やインフルエンザ等の感染症については、今日的課題として、引き続き、未然防止や感染予防等に努める必要がある。